

みさと市議会だより



No. 198

2024年7月15日号

年4回発行

発行 埼玉県三郷市議会

議会は市の

迎

とっ開

主な内容

令和6年6月定例会

- ・ 論点「(仮称) 南部地域拠点防災コミュニティ施設の新築工事が始まります」……………2
- ・ 市政に対する一般質問……………3
- ・ 6月定例会提出議案とその結果……………8
- ・ 議会あれこれ①……………9
- ・ 国・政府に要望／議会あれこれ②……………10
- ・ 読者の声……………12



2024オリンピックデーラン三郷大会
(セナリオハウスフィールド三郷)

論点

6月定例会に上程された議案のうち、特に市民の方々に関連の深い議案が、どのように審議されたか、その要旨をお知らせします。

(仮称)南部地域拠点防災コミュニティ施設の新築工事が始まります



6月定例会
6/3~6/14

6月定例会には、市長から12議案が提出され、原案どおり可決しました。

完成イメージ図 ※実施段階での調整により、変更になる可能性があります。

(仮称) 南部地域拠点防災コミュニティ施設概要

工事概要

工事場所	三郷市鷹野三丁目521番
敷地面積	2,845.90㎡ + 東側駐車場1,089.52㎡
延べ面積	2,175.34㎡
履行期限	令和8年3月13日
請負金額	14億7,400万円
請負業者	不動開発株式会社 三郷営業所
用途	防災体験学習施設、災害時避難施設、備蓄倉庫、交流・多目的スペース等

2F コミュニティフロア

防災ラウンジ、防災研修室、防災コミュニティホール、調理室、和室、備蓄倉庫 等

1F 防災体験学習フロア

減災学習ルーム、火災体験コーナー、防災VR体験ルーム、レクチャールーム、防災ガイダンスルーム、防災コミュニケーションコーナー、救助訓練学習ルーム、防災展示コーナー 等

屋外 マンホールトイレ、トイレトレーラー、防災井戸、かまどベンチ、耐震性貯水槽 等

議案第28号 工事請負契約の締結について

〈内容〉(仮称) 南部地域拠点防災コミュニティ施設新築工事(建築)に伴う契約を締結するものです。

※金額が大きい契約を結ぶ場合は、議会の議決が必要です。

▽本会議や委員会では、次のような質疑がありました。

問 整備事業の概要は。

答 平時にはコミュニティ施設として、災害時は避難所機能を備えた施設であり、具体的には防災ラウンジ、コミュニティホール、減災学習ルーム、防災VR体験

学習ルームを備えた防災体験学習施設、備蓄倉庫などの機能を有する施設として整備する。

問 施設の役割は。

答 備蓄倉庫や耐震性貯水槽を有し、施設に避難されたかたに加え、在宅避難など広く対応できる拠点的な施設として考えている。

問 地元住民説明会で出た主な意見は。

答 施設の駐車場確保や、マンホールトイレ、防災井戸の設置などについて意見があった。

委員会の討論では「今後高い確率で起こりうる自然災害に備えるための拠点として大いに期待できる。なお運営主体は市が直営で実施することを要望し賛成する」がありました。

最終結論を出す本会議では、常任委員長が委員会の審査内容を報告し、採決の結果、全議員賛成で可決しました。



市政に対する

一般質問

— 質問議員 —

西村寿美枝	鳴海 和美	深川 智加	柳瀬 勝彦
加藤 英泉	寺沢 美紗	宇治由紀子	佐藤 智仁
佐々木 修	工藤智加子	渡邊 雅人	田上 広子
一色 雄生			

市政に対する監査と政策提案の実現のため、13人の議員が3日間にわたり市政運営全般に対し一般質問を行いました。

※記事掲載は順不同。内容は一部抜粋しています。

「子ども誰でも通園制度」 について

議員 「子ども誰でも通園制度」

は、親の就労要件を問わずに保育施設を利用できる新たな通園給付制度である。これまで未就園児ゆえに支援が届かなかった0歳から2歳のこどもたちと、その保護者への支援として創設が発表された。全てのこどもの育ちを応援し、こどもの良質な成育環境を整備することを目的とし、孤立感や不安感を抱えながら子育てを行っている保護者の負担感を軽減するため、月一定時間までの利用が可能となる。令和8年度からの本格実施を目指して、今年度から全国で試行的事業が始まっているが、本市では円滑な制度導入に向けてどのように検討されているかについて伺う。

子ども未来部長 「子ども誰でも通園制度」については、事業の実施にあたり、まだ不明な点が多いことや、本市においては余裕教室などがないなど、解決すべき課題が多い。今後は、試行的事業を実施している自治体へ視察するなどし、市の状況を踏まえたうえで方向性を模索し

つつ、公立保育所の所長会議や私立園長会議等を活用して、情報共有を図りながら、事業の実施に向けた検討を進める。

その他の質問 広報DX問題など。



放課後児童クラブ教室の WiFi設置について

議員 GIGAスクールが始まりタブレットを活用した学習もだいぶ定着し、教室のWiFi設置など環境整備が着々と進んだが、放課後児童クラブには未設置だ。夏休みなど長期休暇の時などは、宿題や調べ学習を行う良い機会だが、環境が整っていないければタブレットは使

えない。他市では児童クラブから帰って、遅い時間に宿題をしているとの保護者の不安の声から、全施設にWiFi設置をした事例もある。三郷市としても、すべての放課後児童クラブの教室にWiFi設置を行い、学習環境の整備をすべきと思うがいかがか。

学校教育部長

議員のご提案は、タブレットを利用した宿題が増えてきていることや、「ICT教育の充実」にも資する取り組みであり、児童の学びを多面的に支援する方策の一つであると認識している。まずは、放課後児童クラブでの利用ニーズ調査をはじめとする実態把握が必要と考えている。他市の事例をもとに、本市における整備環境や運用した場合における課題を整理し、調査研究に努める。

その他の質問 女性支援問題。



※写真はイメージです

「旧後谷小学校」住民の意向に沿った形で利活用の検討を

議員

旧後谷小学校は、地域の方々に愛され、支えられてきた。しかし、小規模化を解消するとして、2024年4月に前間小学校と統合し廃校となった。現在は、体育館などの市民への貸し出しが引き続き行われており、住民の健康増進などに貢献している。「今後も市民への貸し出しを行ってほしい」、「災害時の避難所としての機能を残してほしい」など様々な声がある。住民の意向に沿った形で利活用の検討を行ってほしいと思うが、今後の利活用について考えは、また旧後谷小学校の跡地は、市民の大切な財産でもある。地域住民の意見聴取を行ってほしいが、考えは。

市長

前間小学校との統合により、令和5年度末をもって閉校となり、



令和5年開通の三郷流山橋

障がい者の高齢化が進む中 行政としてのサポートの在り方について

議員

障がい者の高齢化が進み「65歳問題」ということも話題になっていきます。65歳問題とは、64歳まで障害福祉サービスを利用できていたかたが65歳になると、介護保険の要介護認定を受けることにより、介護保険サービスの利用が優先されてしまうことです。つまり65歳になると介護保険サービスに移行され、現在利用している障害福祉サービスと同様のサービスがある場合は介護保険サービスに変わるということになります。障がいのあるお子様を持つ高齢のご両親に対して65

議員

歳問題についてのお知らせや啓発活動を市民へしっかりと行っていただきたいと思えます。

福祉部長

障害福祉サービスを利用するかたが65歳になる前から、介護保険サービスの案内を行っている。障がい特性や生活状況等を勘案し、必要と判断すれば継続して障害福祉サービスを支給し、ケアプラン作成者の変更に対する本人や家族の負担を最小限にすべく、引継ぎ先担当者との綿密な打ち合わせや同行訪問などを行っている。昨年度はケアマネージャーに対し、障害福祉サービス制度について、理解を深めるための研修会を実施した。今後も継続して行い、障がい者が高齢になっても、安心してサービスを利用できるように努めてゆく。

その他の質問

ひきこもり支援についてなど。

デマンド型路線バスの運営を

議員

スーパーやコンビニなどから直線距離で500メートル以上離れた場所に住み、車などを利用できない「買い物弱者」のために、茨城県などで路線バスを運営の「みちの

りホールディングス」は一部を予約制とし、希望場所まで迎えに行く仕組みで利用者を増やしています。最適なルートは人工知能(AI)が指示するもので、これからの路線バスの再生は知恵と技術で運営されて来ると思っています。これまで、デマンド交通やコミュニティバスの提案をしてきましたが、廃止された路線や減便となった路線においては運行の再構築を考え、バス事業者と協力し、人工知能(AI)を利用して、必要路線や便数を確保するために、市が中心となって策を講じ、市民一人一人が食料を不便なく入手できる食料安全保障の観点からもバスの深刻な課題解決を図っていく必要があるのではないのでしょうか。

まちづくり推進部長

令和5年度

から着手した地域公共交通計画の策定において、新しい交通移動手段の導入可能性を含め、それぞれの地域に適した公共交通の在り方を、地域の皆様と意見を交わし、「地域が支え、育てる」持続可能な公共交通の確立に向けて、検討していく。





子ども・若者の居場所づくりを
(青少年ホーム)

中高大生の居場所づくりの 現状と必要性、今後の 取り組みと課題について

議員

内閣府の調べでは、家庭でもなく学校でもない、第二の居場所を必要としていることも、若者が多く存在していることが伺える一方で、思春期や青年期の子どもを対象とした居場所が乳幼児期や学童期の子どもを対象とした居場所と比べ格段に少ない現状が見えてくる。第三の居場所があることで、友人関係や家族の問題に気付くきっかけになり、思春期から青年期にかけて子ども・若者の孤立を防ぎ、地域で彼らのチャレンジを後押しする居場所づくりは喫緊の課題と考えるが、本市の現状と必要性、今後の取り組みと課題を伺う。

子ども未来部長

市のこどもの居場所としては、民間運営のこども食堂等17か所の他、市の施設である児童館が3か所ある。児童館では、令和3年度から中高生を対象とした「中高生の居場所事業」を1か月に1回実施しており、今後その回数を増やすことや、WiFi環境の整備を検討している。今後も引き続き、こどもまんなか社会の実現を目指し、若者の居場所づくりに努める。

生涯学習部長

青少年ホームは、

中高生が活動するジュニアリーダーや18歳以上の青少年リーダーたちの活動拠点の場となっており、誰でも閉館時間の午後9時まで利用できるよう、1階の談話室を開放している。引き続き青少年の居場所を提供していきたい。若者の居場所の確保について、他自治体の事例や取り組みなどを参考に調査研究していく。

秋に予定されている 新型コロナウイルス予防接種の 薬剤について

議員

本年秋季より予定されている新型コロナウイルス予防接種の使用薬剤について、新しく開発された「自己増殖型(レプリコン)」と呼ばれる、体

内でmRNAが増殖していくタイプが採用される可能性が考えられる。未知の危険性が指摘されている遺伝子製剤が日本でのみ承認され使用されることに対し、これを中止すべきという声が高まってきている。すでにコロナワクチンの健康被害救済制度の死亡認定数が400件(4月発表)を超え、史上類をみない薬害となっており、テレビ新聞が報じない。ワクチンビジネスに偏らない公平公正な情報提供を求めるとともに、市として接種費用の助成はすべきでないと考えるが、見解は。また、三郷市で救済制度への申請数は現在何件か。

いきいき健康部長

新型コロナウイルス

ワチンの健康被害救済制度への申請数は6月3日現在で9件。秋接種に使用される薬剤や費用等の詳細はまだ決まっていないが、国や県の動向をふまえて、市としては市民へのわかりやすい情報提供につとめていく。

その他の質問

公共交通問題など。

特定動物飼育時における 管理方法について

議員

2020年、ペット関連

市場が1・6兆円を突破したといわれている。ここで問題となるのが、特定動物飼育や販売を行っている場合である。特定動物とは、例えば、哺乳類の場合、霊長目、食肉目、長鼻目、奇蹄目、偶蹄目。鳥類の場合、ダチョウ目、タカ目があり、爬虫類の場合、かめ目、とかげ目、わに目。約650種が対象だが、人に危害を加える恐れがある危険な動物を飼育や販売を行う場合、都道府県知事又は政令指定都市の長の許可が必要になっている。しかし、特定動物を許可なく飼育を行う人々も存在している現状があり、飼いきれない場合に野放しにするなど生態系への影響は、はかり知れない。そこで、三郷市内における対象登録数、調査、その後の対応、管理方法の周知について伺う。

市民生活部長

埼玉県内では、4

04頭が確認されているが、三郷市内では現在確認されていない。市内で発見された際は、県や警察と協力し、早い捕獲に努める。また、管理方法の周知については市ホームページに掲載を行い、啓発に努めていく。

その他の質問

交通問題など。

外国人の文化の違いによる 影響について

議員

日本国内で暮らす外国人は年々増加しており、埼玉県内では川口市、蕨市、戸田市で外国人割合が高く、三郷市でも年々外国人住民が増加しています。長年暮らしている人や、外国人技能実習生として一定期間生活する人も増大していると思います。多文化共生するために、言語はもちろん文化の違いを理解し共生する人もいれば、自分の国の習慣や文化をそのまま日本でも続けたり、同じ国の人達のコミュニティ内の独自のルール等で、トラブルや犯罪に発展することもあります。三郷市における外国人住民の推移や人口別の国籍、現在の対応と今後について伺います。

地域振興部長

市の外国人住民は前年度5月から855人増加し、令和6年5月時点で6,513人と増加傾向にあり、総人口に占める割合は4.6%、出身国は多い順に中国、ベトナム、フィリピンとなっている。市では、国籍に関係なく誰もが安心して生活できるよう、本市の制度をまとめたリビングガイドを

発行している。外国の文化を認めつつ、日本の文化や市のルールを正確に外国人住民に伝える必要があると考え、多言語による表記やわかりやすい日本語を使用して、生活に必要な情報を周知できるよう、転入時のチラシ配布や外国人住民を雇用している事業所への周知等も含め、対応方法について調査・研究していく。

その他の質問

命を守る対策。

ひきこもり状態にある 「家庭」への支援強化を

議員

社会的な孤立状態にある人たちの増加が日本社会の直面する問題となっている。「8050問題」はメディアの話題となっており、なるが、未だ公的な支援は乏しいままだ。こうした問題を正面から受けとめ具体的な支援に乗り出している自治体は、実態を把握するべく実態調査を実施している。厚生労働省も支援のためのマニュアルを策定するため、全自治体を対象とした実態調査を実施するよう通知を出しているが、本市の対応は、埼玉県は令和4年「埼玉県ひきこもり支援に関する条例」を公布。県内各自治体に相談窓口を設置しているが、窓口

が不明瞭である。市民に身近な相談窓口を明確化し、周知すること。アウトリーチ型の支援に繋げ、本人の意思と選択、実情に応じた伴走型の支援を強化するために、専任職員を配置すること、ひきこもり状態にあるかたやご家庭の居場所を設置することを要望する。

福祉部長

担当窓口のふくし総合相談室や障がい福祉相談支援センター等では、ひきこもりの相談があった場合、必要に応じて定期的に様子を確認するなど相談者に寄り添った支援を行っている。経験値のある支援員等との事例検討・研修等を通して、職員のスキルアップに努める。ひきこもり状態にあるかたの地域における居場所作りの一例として、障がいのあるかたには地域活動支援センターがあり重要な役割を果たしている。実態調査は今後実施予定。

その他の質問

教育環境など。

首都圏新都市鉄道株式会社への 働きかけについて

議員

首都圏新都市鉄道が運行するつくばエクスプレスは、三郷中央駅周辺の都市開発等をもたらした人口増加、それに伴う税収増をはじめ

めとして、近年の本市の発展に大きな影響をもたらした。今後の本市の更なる発展のためには首都圏新都市鉄道との一層の共創が必要である。そのためにも快速列車の停車駅となることや東京駅までの延伸といった利便性向上に関する働きかけや、イベント開催・情報発信といったにぎわい創出を目指した働きかけの強化をすべきであると考え、市の見解は。

まちづくり推進部長

利便性の向上については、これまで東京駅延伸や8両化に関する要望を優先度の高いものとして働きかけてきた。今後もこれらの実現に向けて引き続き働きかけを続けていく。にぎわい創出については三郷中央駅周辺のイベント情報発信の依頼や、つくばエクスプレス開業20周年に合わせた首都圏新都市鉄道との共同イベント開催などの可能性を模索していきたい。

その他の質問

健康対策。



三郷中央駅の様子

消えゆく町内会・自治会が抱える課題

議員 地縁型組織である町内会・自治会は、防災活動をはじめ、皆で

楽しめる様々なイベントを通じ、交流を深め、地域のコミュニティをつくってきました。共に支え合い、多様な課題にも自分たちのまちは自分たちで守ることが理想ですが、近年の少子高齢化に伴う組織役員の高齢化と世帯の弱小化、個人の意識の変化により、町内会・自治会組織は、存続の危機を迎えようとしています。三郷市が市内の町内会・自治会に期待する役割と、課題、対策等を伺います。



地域振興部長 町会・自治会は、地域のまちづくりにおいて重要な役割を担うと認識しており、また災害時においても大きな役割を担うと期待している。課題としては、少子

高齢化・核家族化が進み、単身世帯・共働き世帯が増加する中、地域への帰属意識の希薄化が進んでいることなどから、町会等への未加入者が増加していること、町会等の構成員や役員の高齢化が進んでいることが挙げられる。今後も引き続き、町会・自治会等の区域に転入された方々に加入促進チラシを配布するとともに、将来の町会役員など、地域のリーダーとなる人材の育成を含め、町会・自治会等の活動の支援に努めていく。

その他の質問 高齢者問題。

シンプルな都市計画とDX推進について

議員 本市の未来を考える総合計画の後期計画を今後作成するにあたり、誰が見ても分かりやすいシンプルな計画をつくること。また、本

市から企業の撤退が続いている状況を、市としてはどのように考え、計画に反映させていくのか。DX推

進については、計画ではなくビジョンにしているが、DX推進での優先順位について伺う。また、DXは民間企業でも進めているが、窓口対応の問題は今後の自治体の課題になると感じている。今後の方向性について伺う。

企画政策部長 計画を策定する際、有識者や公募の市民等による、三郷市まちづくり委員会の皆様からの「総合計画と総合戦略を別のも

の」として位置付けることが分かりにくい」という指摘も踏まえ、前期基本計画の中に一体的に策定した経緯がある。後期基本計画の策定では、それぞれの位置付けを改めて整理したうえで、策定体制の整備や、前期基本計画の振り返り、コロナ後の社会情勢の変化を踏まえるとともに、多くの市民の皆様から意見を伺いながら策定を進めていく。三郷市DX推進ビジョンは、デジタル技術の進化が日進月歩であることから、時代の潮流に合わせるため、ビジョンを示すに留めている。今後DXを推進するにあたり、DXはひとつの手段であり、デジタル化ありきではなく変化に対応し、本市の特性にあったDXを進める。

その他の質問 子育て問題など。

【議会の詳細は「会議録」で】

三郷市議会ホームページまたは、市役所内の市政情報コーナー、図書館などで「会議録」を閲覧することができます。なお6月定例会の会議録は8月下旬頃に更新する予定です。

▶会議録速報版を公開…閉会から概ね1か月程度で、ホームページ上にPDF形式で公開しますのでご覧ください。

URL <https://ssp.kaigiroku.net/tenant/misato/SpTop.html>

※状況により、公開が遅れる場合があります。

三郷市議会 会議録

検索

人事案件

議案第36号 副市長の選任について、議会として同意しました。

しみず じゅん 清水 純氏 (香川県高松市)

令和6年7月7日付けで、吉田敏晴氏が副市長を退職し、7月8日付けで、清水 純氏が就任しました。

6月定例会の審議結果と賛否をお知らせします

○=賛成 ×=反対 △=棄権

号	件名	結果	新政会	21世紀クラブ	公明党	日本共産党	ネットワークみらい	政志会
市長提出議案	25 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	26 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	27 専決処分の承認を求めることについて	承認	○	○	○	○	○	○
	28 工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
	29 工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○
	30 財産の取得について	可決	○	○	○	○	○	○
	31 三郷市税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	32 三郷市都市計画税条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	33 三郷市地域型保育事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	34 三郷市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
	35 令和6年度三郷市一般会計補正予算（第1号）	可決	○	○	○	○	○	○
	36 副市長の選任について	可決	○	○	○	△	○	○
議員提出議案	37 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○
請願	2 市独自の「介護職員・介護支援専門員等への処遇改善事業の実施」を求める請願書	不採択	×	×	×	○	×	×

※議長は採決に加わっていません。
 ※このほか陳情2件がありました。

会派名（人数）	所属議員名
新政会（8）	武居 弘治、篠田 正巳、佐々木 修、田上 広子、宇治 由紀子、篠田 隆彦、齋藤 幹郎、寺沢 美紗
21世紀クラブ（6）	菊名 裕、岡庭 明、加藤 英泉、柳瀬 勝彦、渡邊 雅人、一色 雄生
公明党（5）	鈴木 深太郎（議長）、酒巻 宗一、佐藤 睦郎、鳴海 和美、西村 寿美枝
日本共産党（3）	工藤 智加子、佐藤 智仁、深川 智加
ネットワークみらい（1）	市川 文雄
政志会（1）	佐藤 裕之



請願

市民要望としての請願が6月定例会に1件提出されました。結果をお知らせします。

- 請願第2号 市独自の「介護職員・介護支援専門員等への処遇改善事業の実施」を求める請願書
- 請願者 東京民医連労働組合 健和会支部福祉分会 執行委員長 有賀 隆人 氏
- 審議結果 不採択

全国及び県議長会から表彰

全国市議会議長会及び埼玉縣市議会議長会の定期総会において、地方自治の発展、市政の振興に貢献された功績に対して表彰されました。



たけい こうじ
武居 弘治

全国市議会議長会（正副議長歴4年）
埼玉縣市議会議長会（正副議長歴4年）



おかにわ あきら
岡庭 明

全国市議会議長会（議員歴30年）
埼玉縣市議会議長会（議員歴30年）



さとう ひろゆき
佐藤 裕之

全国市議会議長会（議員歴10年）
埼玉縣市議会議長会（議員歴10年）



かとう えいずみ
加藤 英泉

全国市議会議長会（議員歴10年）
埼玉縣市議会議長会（議員歴10年）

感謝状



ささき おさむ
佐々木 修

全国市議会議長会（議員歴10年）
埼玉縣市議会議長会（議員歴10年）

全国市議会議長会から、社会文教委員として、その職責に対する感謝状が贈呈されました。

また、埼玉縣市議会議長会及び埼玉縣市議会議長会第4区議長会から、役員として議長会の発展に尽力された功績に対する感謝状が贈呈されました。

たけい こうじ
武居 弘治

全国市議会議長会 社会文教委員

埼玉縣市議会議長会

埼玉縣市議会議長会第4区議長会

すずき しんたろう
鈴木 深太郎

全国市議会議長会 社会文教委員

国・政府に要望

6月定例会では1件の意見書を提出しました。

議案第37号 災害発生時における信頼性の高い情報連携体制の構築への支援を求める意見書

(要望事項)

1. 情報発信者や情報発信機器の事前登録等により、情報の信頼性を担保し、現場からの正確な情報を収集し活用する情報連携環境を整備すること。
2. IOTセンサーやドローンを活用して、リアルタイムでの国と地方自治体の災害情報共有体制を整備すると同時に、適切な情報分析と迅速な対策を促す気象防災アドバイザーの自治体への配置を支援すること。
3. 正確な情報を発信する公的情報サイトや政府認定のアプリケーション等、国民への普及を強力に推進すること。

「意見書」とは…

公益にかかわることについて、議会が意思決定機関として意見をまとめ、議決し、国等の関係機関へ「意見書」として要望などをすることです。



議会あれこれ②

【常任委員会行政視察を行いました】

当市の課題と先進事例の研究を行い、より一層の市民サービス向上に寄与するため、行政視察を行いました。各常任委員会の行政視察報告書は、市ホームページでご覧いただけます。

委員会名	日程	視察先	視察項目
総務	5月8日 ～10日	小松市（石川県）	「罹災証明の迅速化等」について
		越前市（福井県）	「移住定住事業」について
		福井市（福井県）	「財産有効活用民間提案制度」について
健康福祉	5月15日 ～17日	赤穂市（兵庫県）	「ひきこもり対策推進事業」について
		姫路市（兵庫県）	「ひとり親家庭支援」について
		川西市（兵庫県）	「子どもの人権オンブズパーソン事業」について
文教経済	5月8日 ～10日	一宮市（愛知県）	「尾張一宮駅前ビル・中央図書館」について
		伊勢市（三重県）	「観光施策」について
		刈谷市（愛知県）	「刈谷市総合文化センターアイリス内での生涯学習事業」、 「中高生の居場所づくり事業『なごみん はあと』」について
建設水道	5月15日 ～17日	静岡市（静岡県）	「しずおかMaaS」について
		大垣市（岐阜県）	「まちなかテラス」について
		桑名市（三重県）	「オンデマンドバス『のるーと桑名』」について

議 会 を 傍 聴 し ま せ ん か

議会傍聴は議会活動に触れることができる最も身近な方法です。市政への理解を深めていただくためにも傍聴をしてみませんか。

※傍聴の際に手話通訳を希望されるかたは、傍聴希望日のおおむね14日前までに議会事務局までお申し込みください。

問い合わせ 議会事務局 ☎ 048(930)7768
FAX048(953)1358



令和6年9月定例会の日程表

月日	曜日	会議別
9/2	月	本会議 (議案説明・ 質疑など)
9/3	火	
9/6	金	
9/9	月	委員会
9/10	火	
9/17	火	本会議 (議案採決・ 一般質問など)
9/18	水	
9/19	木	
9/20	金	

※正式には市長の招集告示を受け、議会運営委員会を経て、開会日の本会議で決定します。

..... 傍聴のルール

- (1)騒ぎ立てたり、拍手をするなど可否を表明したり、迷惑となるような行為をしないでください。
- (2)みだりに立ち上がるなど、威圧的な行為をしないでください。
- (3)携帯電話・カメラ・録音機等の電源はお切りください。
- (4)飲食または喫煙をしないでください。
- (5)その他、議場の秩序を乱し、または会議の妨害となるような行為をしないでください。

※傍聴されるかたは、議長、係員の指示に従ってください。

次回の9月定例会は9月2日(月)午前10時に開会予定です。

【他市からの行政視察がありました】

- 「日本一の読書のまち推進事業」について…3月18日に秋田県大仙市議会新政会・市民クラブ。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について…4月17日に京都府舞鶴市議会公明党議員団。
- 「日本一の読書のまち推進事業」について…5月9日に愛知県稲沢市議会市民クラブ。
- 「複合施設三郷中央におどりプラザ」について…5月16日に島根県出雲市議会公共財産活用特別委員会。
- 「消防団の充実強化の取組」について…5月21日に茨城県つくば市議会市民経済委員会。
- 「インクルーシブ公園整備事業」について…7月3日に愛知県清須市議会清政会。

わたしもひとこと

読者の声

田園風景

無職 60代 彦成在住

平屋建てしかなく高い構造物も無かった昔。遠くに見えるのは赤い屋根の町役場。ずうっと続く田畑と曲がりくねった野道。透き通った水を湛える水路。季節毎に水遊び、魚釣り、かい掘り…。

遊び場はいつもこの自然の中でした。今では、住宅が建ち並び、道路も整備され車が絶えず往来しています。

利便性の向上と生活様式の変化は、自然環境も少しずつ変えてきました。でも葦が生い茂る用水では魚釣りが楽しめ、その用水に続くU字溝では、短い糸を垂らしてザリガニ釣りをしている子供の姿があります。

60年後、孫たちが見る景色に、このどかさとながなが泳ぐ清流が戻っていたら最高です。

変えてほしいこと

無職 70代 彦成4丁目在住

私は長年仕事が忙しく、家と会社を往復する生活でしたが、定年を迎えてからは、図書館などを利用するようになりました。70歳を過ぎてもお陰様で健康で、毎日散歩に出かけていますが、市内の「〇〇老人福祉センター」という名称を見ると、残念な気持ちになります。「老人福祉センター」は、60歳以上が無料で利用できるそうですが、「老人」という言葉に抵抗感のある人も多いのではないのでしょうか。

三郷市の高齢者が、若々しい気持ちでいられるような、前向きにとらえられるような言葉であってほしいと思います。



オリンピックデーランは、6月23日のオリンピックデーを記念して全世界で行われているオリンピックデーイベントのひとつです。6月8日(土)、三郷大会が開催され、オリンピックも参加し、大いに盛り上がりました。

暑中お見舞い申し上げます

猛暑の折、熱中症等くれぐれもお身体に気を付け、ご自愛ください。



議長 副議長 議員 長

(議席順)

- | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|-----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|---|
| 岡庭 | 菊名 | 武居 | 酒卷 | 佐藤 | 佐藤 | 市川 | 加藤 | 柳瀬 | 佐々木 | 田上 | 西村 | 鳴海 | 工藤 | 佐藤 | 深川 | 渡邊 | 一字 | 篠治 | 齊田 | 寺藤 | 篠沢 | 鈴田 | |
| | | 弘 | 宗 | 睦 | 裕 | 文 | 英 | 勝 | 広 | 寿 | 和 | 智 | 智 | 智 | 雅 | 雄 | 由 | 隆 | 幹 | 美 | 正 | 深 | |
| | | 裕 | 治 | 一 | 郎 | 之 | 雄 | 泉 | 彦 | 修 | 子 | 枝 | 美 | 加 | 仁 | 加 | 人 | 生 | 子 | 彦 | 郎 | 紗 | 巳 |

※公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候の挨拶状などは禁止されております。本紙上をもって、ご挨拶とさせていただきます。

